

地方創生について

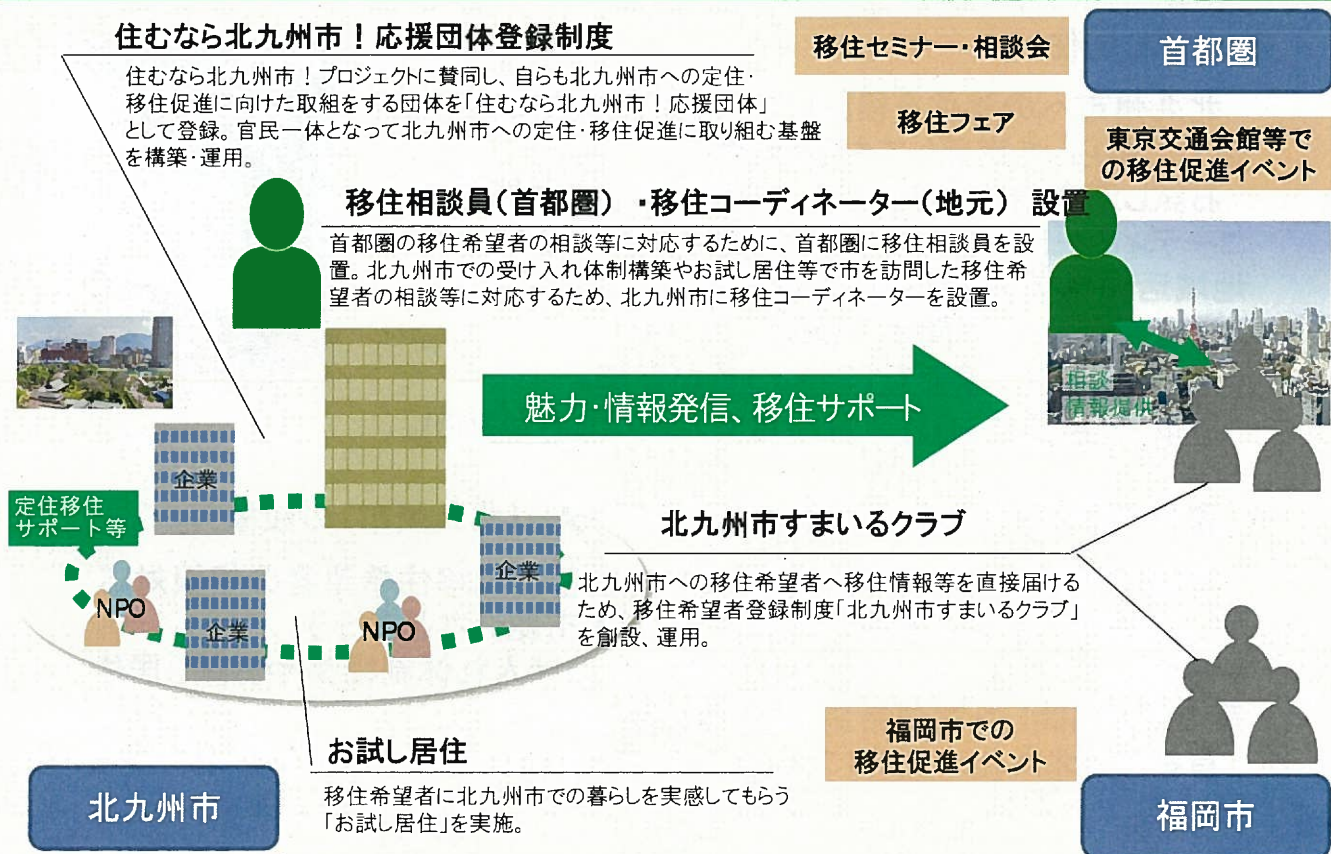
【総務財政委員会所管事務調査資料】

1. 定住・移住促進に向けた取組について

平成29年11月10日
企画調整局地方創生推進室

平成29年度 定住・移住促進事業の全体像

2



1 住むなら北九州市！応援団体登録制度

市と一緒に定住・移住促進に取り組む企業・団体を登録し、官民一体となって北九州市への定住・移住を促進する制度。

登録団体には登録証を発行し、登録マークの使用を認める。その他、移住希望者への情報発信や生涯活躍のまち事業への参加などを行う。

平成28年7月制度開始。

平成29年10月末日時点で48団体登録。



2 北九州市すまいるクラブ

北九州市への移住希望者の会員制度(メンバーシップ)。応援団体による会員特典を提供するほか、移住に関する情報を定期的に発信することで、定住・移住を支援する。

平成28年10月制度開始。平成28年度末時点で136人登録。

平成29年10月末日時点で263人登録。

3 お試し居住

北九州市への移住を検討している人を対象に、北九州市での暮らしを実感してもらう制度。

お試し滞在用住居を用意し、希望に合った訪問先をコーディネートするなど、実際の生活体験や企業見学、地域活動見学を体験してもらう。

滞在期間は、1週間から1カ月。

平成28年度末までで19組29名が参加。

平成29年度は10月末日時点で13組26名が参加。



4 移住相談員(首都圏)・移住コーディネーター(北九州市)の設置

移住相談員は、東京事務所において、首都圏の移住希望者の相談対応や、首都圏で開催する移住セミナーでの本市紹介などを行う。

移住コーディネーターは、北九州市での受け入れ体制構築やお試し居住等で市を訪問した移住希望者の相談等に対応する。

首都圏と北九州市両方において、移住希望者の本市への定住・移住を支援する。 相談実績:平成28年度84件 平成29年度74件(9月末)

お試し居住の活用例①

5

子育て環境の良い地域に移住したい。
シェアハウスやゲストハウスの経営に興味がある。



30代親子
東京都出身
1週間参加

1日目	受入ミーティング
2日目	門司港周辺を散策 ゲストハウス「トゥネル」を見学
3日目	観光協会の市内観光ツアーに参加
4日目	育児サークル「響の森」に参加 子育て支援施設「元気のもり」を訪問
5日目	市内に住む友人を訪問
6日目	コワーキングスペース「秘密基地」を見学 ゲストハウス「Tanga Table」を見学 夜はイベントに参加して市民と交流
7日目	退出ミーティング



■ 門司港



■ ゲストハウス「トゥネル」



■ 育児サークル「響の森」



■ Tanga Table



■ コワーキングスペース「秘密基地」



■ 子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」

お試し居住の活用例②

6

北九州市を離れて40年。
Uターンに向けて住居や生活環境を確かめたい。医療や介護も気になる。



60代夫婦
北九州市出身
10日間参加

1日目	受入ミーティング
2日目	
3日目	URや民間不動産会社を訪問
4日目	ゆうゆう壺番館、銀杏庵穴生倶楽部を見学
5日目	
6日目	いきがい活動ステーションを訪問 生涯現役夢追塾を見学
7日目	市内に住む親族を訪問
8日目	小倉記念病院、西野病院を見学
9日目	
10日目	退出ミーティング



■ ゆうゆう壺番館



■ 銀杏庵穴生倶楽部



■ 小倉記念病院



■ 西野病院



■ いきがい活動ステーション

5 情報発信について

(1)ポータルサイト「北九州ライフ」・SNSによる情報発信

ポータルサイト「北九州ライフ」を開設し、定住・移住に関する最新の情報や、「住むなら北九州市！応援プロジェクト」の内容、北九州市の魅力などを掲載。 ※月平均アクセス数:14,448(平成29年度)

Facebook・twitterでも旬の北九州市の情報を毎日発信。

(2)スタートブック等パンフレットによる周知

北九州市への移住を具体的に検討できるよう、子育て、くらし、仕事等の魅力、移住者へのインタビューに加え、移住のはじめかたや目的別問い合わせ先を紹介した「はじまりのはじめかた」等を作成。イベントにおいて配布、移住相談において使用。



ポータルサイト「北九州ライフ」について

移住を検討している方が、移住に関する情報を一元的に収集できるよう、北九州市における移住支援や住みやすさに関する情報を分かりやすく紹介。

The screenshot shows the main navigation and content areas of the Kitakyushu Life website. Callouts highlight the following features:

- 北九州ですまいるクラブ** (North Kyushu Smaile Club): A section for a membership club with benefits and an application form.
- 【すまいるクラブ】** (Smaile Club): A callout pointing to the membership club's introduction and application form.
- 移住者インタビュー** (Movers Interview): A section featuring interviews with people who have moved to the city.
- 【移住者インタビュー】** (Movers Interview): A callout pointing to the interview section, stating it introduces the voices of those who have actually moved.

The website layout includes a header with navigation links, a main banner for the '応援します! 住むなら北九州市!' project, and several content blocks for 'お試し居住', '定住・移住相談', 'イベント情報', and '北九州市の魅力' (Attractions of Kitakyushu City) with images of lifestyle, childcare, work, and transportation.

■ 北九州ライフセミナーin有楽町

首都圏の移住希望者（潜在希望者含む）向けに、北九州市の魅力伝え、実際の移住に繋げていくことを目的に開催。

開催毎に設定したテーマに基づいて魅力について情報提供する全体セミナーと、「お試し居住」「暮らし」「しごと」等についての個別相談から構成。

平成27年12月23日に第1回を開催、これまでに8回開催。延べ284人が参加。



全体セミナー



個別相談

■ 第7回開催（平成29年6月24日）※当日参加者30人

テーマ：もっと知ろう！夏の北九州市

「北九州の逆襲」著者の葉月けめこ氏をゲストにお呼びし、世界文化遺産に登録された戸畑祇園大山笠等、北九州市の夏の魅力について、トーク形式でわかりやすく説明。

■ 第8回開催（平成29年10月14日）※当日参加者32人

テーマ：リノベーション住宅で賢く暮らす

「住まい探し」について、市内でリノベーションのプロである株式会社tamamDESIGNの田村氏、(有)ひまわりの杉氏が登壇し、中古住宅選びのコツやリノベーション向きの物件の見分け方等をプロの視点から説明。



北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を基に策定)

まち

ひと

しごと

①北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

②北九州市への新しいひとの流れをつくる

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④時代に合った魅力的な都市をつくる

上記②の重要施策として

北九州市への定住・移住の促進

暮らしやすい環境整備

20代向け

30代向け

40代向け

アクティブシニア

①北九州市への移住希望者への振り起こし
⇒北九州市すまいるクラブ

②移住希望者の受入体制の充実
⇒住むなら北九州市！応援団体登録制度

③移住希望者の本市へのマッチング
⇒移住相談員（首都圏）、移住コーディネーター（北九州市）の設置、お試し居住

対象者
(主に北九州市出身、北九州市での仕事経験者など)
移住に興味がある人



生涯活躍のまち

中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の住民（多世代）と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを目指す。・・・国の提言

- 【具体的な取組】
- ①官民一体となったまちづくり
⇒多世代の住民が住みやすいまち
 - ②シニア・ハローワーク、Uターン応援プロジェクト等を活用した就職支援
⇒今まで培った能力を社会で発揮
 - ③介護ロボットの導入
⇒要介護認定者増加への対応や介護従事者の負担軽減
 - ④地域での生涯学習や健康づくり
⇒要介護者になりにくく、生き生きとした生活

北九州市への効果

このような取組を国の支援を活用して行う

- 市内中小企業の人材不足の解消
- 技術力を備えた労働者の増加
- 市内高齢者の活性化に影響
- 消費活性化による地域経済の発展
- まちのにぎわい
- 本市の新たな魅力の創出

北九州市版生涯活躍のまちの全体像

首都圏等

移住相談員の設置
首都圏（東京）における移住希望者の相談窓口

移住相談員 相談対応
お試し居住窓口

北九州市への移住希望者



情報提供・相談対応

北九州市すまいるクラブ

統一の会員制度の創設
移住に関する支援情報を定期的に発信

魅力発信

ポータルサイトやSNS、セミナーを通じた魅力発信

北九州ライフHP SNS 移住セミナー

シニア活躍！セカンドキャリア支援プロジェクト
50歳以上の求職者と地域企業とのマッチング支援・カウンセリングの実施

シニアハローワーク戸畑 地域企業

北九州市

お試し居住
移住希望者に対して、市内住居と居住体験プログラムを提供

北九州市移住コーディネーターの設置

移住希望者の相談対応、お試し居住者等の支援

移住コーディネーター

北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト
相談窓口の設置（北九州市・東京）
企業情報、求人情報の提供

住むなら北九州市！応援団体
官民一体となった移住・定住環境づくりを促進する「応援団体」ネットワークを形成



市内企業 NPO

高齢者いきがいステーション連携事業
専門コンシェルジュと移住コーディネーターの連携により移住(予定)者のいきがいづくり、社会参加を促進

高齢者に適した住宅等の整備
住まい深しの支援など

専門コンシェルジュ

生涯学習支援センター
大学 市民センター

地域包括ケアシステム構築事業
日常的な介護予防や生活支援、見守り体制など継続的なケアを確保する体制の構築

市民センターを拠点とした健康づくり事業
市民主体の健康づくり事業の実施

介護ロボット関連事業
国家戦略特区を活用してロボット技術を導入し介護職員の負担軽減、働き方改革を目指す

コミュニケーションロボット 移乗アシスト装置

認知症支援・介護予防センター運営事業
認知症の予防、早期発見の重要性の啓発を行う「認知症支援・介護予防センター」の設置・運営

市民センター
在宅医療・介護連携支援センター
認知症支援・介護予防センター



生涯活躍のまち形成に向けた取組にあたっては、市全体でアクティブシニアの移住・定住促進に向けた取組を進めるとともに、市内6地区をモデルエリアとして、中高年齢者の社会活動への参加推進、居住環境の整備、継続的なケアが提供できる環境づくりなど、生涯活躍のまちを体現できるエリアを形成していく。



洞南四地区（八幡西区）における取組

「一般社団法人 北九州おかげさま推進事業協会」、「社会福祉法人 もやい聖友会」を中心事業者として、以下のような特徴を持った生涯活躍のまちづくりを進める（調整中）。

○次世代の育成への参画

→地域の小・中学校のキャリア教育・出前講座、高齢者と大学生との交流に向けた取組、北九州市立大学等の学生がサ高住に高齢者とともに住み、交流する「ひとつ屋根プロジェクト」など

○拠点施設を中心とした多様なコミュニティ活動

→「認知症行方不明者の搜索模擬訓練」など、拠点施設「银杏庵穴生倶楽部」を中心とした多様なコミュニティ活動

○地域包括ケアの推進

→地域自治会・医療・介護・学校・行政等が参加する『地域包括ケア推進会議』を毎月開催、地域包括ケアを積極的に推進

○充実した趣味・社会活動支援 ○自由な住まい方



もやい通りマルシェ

今後の予定

- 11月27日 地域の事業者・関係者等が集まる「地域包括ケア推進会議」にて取組内容を決定
- 12月16日 社会福祉法人もやい聖友会が地域住民が集まるイベント「もやい通りマルシェ」を開催、メディア等を集めて体外的な取組の見学・説明会を開催



「北九州市版生涯活躍のまち」のモデルエリアの1つとして、首都圏等のアクティブシニア層へ住みやすさ等の情報を発信、移住の流れをつくる